



# 週間情報



No.0803

発行日 令和8年1月20日

発行所 全国消防長会  
一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-4500-6622

## 消防本部の動き

### 行事

#### ◆ 「捜索救助犬を活用した人命救助活動の協力に関する協定」を締結

##### 名古屋市消防局（愛知）

名古屋市消防局では、令和7年12月23日（火）、一般社団法人捜索救助犬HDS K9愛知と「捜索救助犬を活用した人命救助活動の協力に関する協定」を締結しました。

この協定は、災害発生時の人命救助活動において、早期に捜索救助犬の協力を得ることにより、迅速な要救助者の発見・救出につなげることを目的として締結したもので、当市内で発生した災害に限らず、県内応援部隊や緊急消防援助隊として活動する際にもご協力いただけるものとなっています。



【締結の様子】



【締結後の記念撮影】

## 訓練

### ◆ CBRNE災害対応訓練を実施

#### 柏市消防局（千葉）

柏市消防局では、令和7年12月23日（火）、CBRNE災害対応訓練を実施しました。

この訓練は、CBRNE災害対応マニュアルの改正に伴い、活動要領の共有を図ることを目的として実施したものです。

当日は、「アンモニア冷媒冷凍機の点検作業中に、配管の繋ぎ目からアンモニアガスが噴出し、負傷者が複数発生した。」との想定で、同マニュアルの主な変更事項であるゾーニング方法や防護装備の選択要領について確認し、各ゾーンにおける隊員間の連携強化につなげることができました。

また、隊員の除染活動なども行い、二次的被害防止技術の向上を図ることができ、有意義な訓練となりました。

今後も、多種多様化する災害に備えるため、訓練を継続し、地域の皆さまが安全・安心に暮らすことができるよう研鑽を重ねてまいります。



【訓練の様子】

### ◆ 鉄道災害時の安全対策研修会を実施

#### 豊中市消防局（大阪）

豊中市消防局では、令和7年12月25日（木）、北大阪急行電鉄株式会社にご協力いただき、同社の桃山台車庫において、鉄道災害時の安全対策研修会を実施しました。

この研修会は、事故発生時の通報体制や救助活動時の安全管理体制を確立することを目的として、平成17年から継続して実施しているものです。

当日は、吹田市消防本部と箕面市消防本部の職員も参加し、車両の構造、可動式ホーム柵などの緊急時の取り扱い要領について座学を行った後、同社職員と連携し、実際に使用している車両を活用して、実災害を想定した救出訓練を実施しました。



【研修会の様子】

## 研 修

### ◆ 局所災害対応訓練に向けた事前勉強会を実施

#### 館林地区消防組合消防本部（群馬）

館林地区消防組合消防本部では、令和7年12月15日（月）、22日（月）の2日間、令和8年2月に実施される局所災害対応訓練に向けた事前勉強会を実施しました。

この勉強会は、災害現場における安全管理体制や連携体制の在り方について理解を深めることを目的として実施したものです。

当消防本部では、数年前から当直勤務時間を活用したWEB会議形式の研修を継続して実施しており、勤務体制の特性を生かした効率的な学習環境づくりを推進しています。

当日は、CBRNE災害と多数傷病者発生時の活動をテーマに、現場活動を担当する職員を中心に各種マニュアルの再確認を行い、実践的な視点から初動対応の課題整理を行いました。

今後も、職員の知識と対応力の底上げを図るとともに、災害種別を問わず迅速に対応できる消防体制の確立に努めてまいります。



【勉強会の様子】

### ◆ 「令和7年度八千代市消防本部症例検討会」を開催

#### 八千代市消防本部（千葉）

八千代市消防本部では、令和7年12月22日（月）、「令和7年度八千代市消防本部症例検討会」を開催しました。

この検討会は、指導救命士が企画し、救急隊員の傷病者に対する観察力、処置能力、判断力の向上を図ることを目的として、毎年開催しているものです。

当日は、メディカルコントロール指導医師を指導者としてお招きし、「難治性VF症例に対する最善な現場活動について」をテーマに2症例の発表を行い、迅速な特定行為の実施や収容依頼時の医師との共有事項についてご指導いただきました。

今後も、症例検討会を継続し、救急隊員のレベルアップを図るとともに、救命率の向上に努めてまいります。



【検討会の様子】

## その他

### ◆ 消防職員意見発表会を開催

#### 酒田地区広域行政組合消防本部（山形）

酒田地区広域行政組合消防本部では、令和7年12月23日（火）、県立酒田光陵高等学校において、消防職員意見発表会を開催しました。

この取り組みは、高校生が消防業務についてより深く理解することで、消防職務への興味を促すことを目的として、平成26年度から管内の各高等学校を会場に開催しています。

当日は、職員4人が参加し、高校1年生約270人を前に意見発表を行ったほか、当消防本部で作成したPR動画を上映しました。

開催後のアンケートでは、約9割の生徒から「消防業務への理解が深まりました。」との意見をいただくことができ、このような取り組みが、消防業務を担う人材確保につながるものと期待されます。



【意見発表の様子】



【発表後の記念撮影】

### ◆ 消防法令違反未然防止リーフレットを配布

#### 小牧市消防本部（愛知）

小牧市消防本部では、令和8年1月5日（月）、宅地建物取引業協会（宅建協会）北尾張支部にご協力いただき、増改築などの各種建築工事による消防法令違反の未然防止リーフレットを、同協会会員事業所へ配布しました。

このリーフレットは、各会員事業所の窓口へ掲載していただくことで、関係者の方々へ、増改築などの各種建築工事による消防法令違反の未然防止の周知と啓発につながることを期待し、配布したものです。

また、全日本不動産協会（全日）愛知県本部にもご協力いただき、昨年12月、全日愛知県本部および宅建協会北尾張支部のホームページ上に同リーフレットを掲載していただきました。

今後も、消防本部受付窓口への届出の際や立入検査などの機会を捉え、各種工事に際し、知らないうちに消防法令違反となることがないように、指導を続けてまいります。



【リーフレット説明の様子】



【公式Instagramの二次元コード】

## 国等の動き

### 消防庁通知等

#### ◆ 移動タンク貯蔵所等に対する立入検査結果について

(消防危第1号、令和8年1月8日)

消防庁危険物保安室長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

今般、「移動タンク貯蔵所等に対する立入検査の実施について（令和7年9月17日付け消防危第207号通知）」により実施を依頼した移動タンク貯蔵所等に対する立入検査の実施結果について、別添1のとおり取りまとめましたので通知します。（別添省略）

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/260108\\_kiho01.pdf](https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/260108_kiho01.pdf)) に掲載されています。

問い合わせ先

消防庁危険物保安室

危険物指導調査係 馬場、笹壁

TEL 03-5253-7524（直通）

電子メールアドレス

[kikenbutsukiseijimu@ml.soumu.go.jp](mailto:kikenbutsukiseijimu@ml.soumu.go.jp)

#### ◆ 全国瞬時警報システムの新型受信機の整備について

(消防国第1号、消防運第3号、令和8年1月8日)

消防庁国民保護室長、消防庁国民保護運用室長から各都道府県国民保護担当部局長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

平素より全国瞬時警報システム（以下「Jアラート」という。）の運用及び整備にご協力いただき厚く御礼申し上げます。

国土交通省水管理・国土保全局及び気象庁では、防災関係機関や住民がとるべき避難行動との関係が分かりやすくなる新たな防災気象情報の運用を令和8年5月下旬に開始する予定です。

これを受けて、消防庁では、新たな防災気象情報に対応するためのJアラートのシステム更改を予定しているところであり、別紙「全国瞬時警報システムの新型受信機の整備について」（令和7年1月7日付け消防国第3号・消防運第1号）にて、システム更改に対応可能な新型受信機を整備いただくよう各地方公共団体をお願いしてきたところです。（別紙省略）

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/260113\\_kokuho\\_1.pdf](https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/260113_kokuho_1.pdf)) に掲載されています。

担当：消防庁国民保護室・国民保護運用室

白井係長、逸見、田中、辰巳、石川、三浦

電話：03-5253-7551

電子メール：renraku-jalt@soumu.go.jp

## ◆ 個室サウナの安全確認について

(消防予第10号、令和8年1月13日)

消防庁予防課長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

令和7年12月15日に東京都港区の個室サウナにおいて火災が発生し、現場では、死者2人の被害等が確認されています。現時点において、火災原因等は調査中ですが、本火災を踏まえ、東京都においては、保健衛生部局と消防が合同で、個室サウナを有する施設の実態把握及び安全確認を順次行う予定です。

つきましては、個室サウナに関して、保健衛生部局等と連携した避難経路等の安全確認の実施に御配慮いただきますようお願いいたします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/27ecdb872cba73de8a17d7263eaf2a992c995f8b.pdf>) に掲載されています。

(問い合わせ先) 消防庁予防課企画調整係 担当：奥田、辻、延安 TEL：03-5253-7523
-----------------------------------------------------------

## 情報提供

### ◆ 第2回日本CBRNE学会/NBCR対策推進機構共同主催学術大会

主催：一般社団法人日本CBRNE学会、特定非営利活動法人NBCR対策推進機構

後援：全国消防長会

大会テーマ：過去の事例を忘れず、多職種連携でCBRNEに備える！

#### 目的

近年重要性が増大している「過去の事例を忘れず、多職種連携でCBRNEに備える！」をテーマとして、日本CBRNE学会/NBCR対策推進機構（事務局担当）共同主催で、第2回学術大会を対面およびオンデマンド配信で実施し、消防職員、地方自治体、自衛隊、警察、自主防災組織等防災関係専門家のみでなく、広く大学教官、若手研究者、学生、一般市民をターゲットに参加の機会を与える。

#### 1 実施日時

令和8年2月22日（日）、23日（月・祝）9時00分から17時00分まで

#### 2 会場

国立オリンピック記念青少年総合センター（センター棟）（小田急線参宮橋より徒歩7分）

※対面およびWeb（オンデマンド）配信

#### 3 主催

一般社団法人日本CBRNE学会、特定非営利活動法人NBCR対策推進機構共同主催

#### 4 対象者

消防職員、防災専門家、医療従事者、自衛隊員、警察、大学関係者などの専門家に加えて、広く興味ある学生、企業、一般市民を対象とする。

#### 5 申し込み方法

シンポジウムに参加を希望される方は <https://cbrnenbcr.peatix.com/view>（Peatix）若しくは、ホームページ（<https://nbcrtaisaku.com>）から登録またはお問い合わせ先にご連絡ください。

不明な点などがございましたらメール（[info@nbcrtaisaku.com](mailto:info@nbcrtaisaku.com)）にてお問い合わせください。

#### 6 参加費（事前登録をされた消防関係者は会員料金といたします）

8,000円（会場参加、当日の昼弁当、お茶、お菓子代を含みます。）

8,000円（オンデマンド参加）

参加費については、申込者にお知らせする銀行口座に振込んでいただきます。

#### 7 懇親会実施日時

令和8年2月22日（日）17時30分から19時30分まで（別途参加費：6,000円）

#### 8 プログラム（発表構成）については、下記ホームページ（公式サイト）をご覧ください。

公式サイト：<https://j-cbrne.org>（日本CBRNE学会）

<https://nbcrtaisaku.com>（NBCR対策推進機構）

#### 【お問い合わせ先】

事務局：NBCR対策推進機構 東京都港区赤坂4-9-25新東洋赤坂ビル3階

担当：岡部・遠藤・石原

TEL：03-5829-6187 FAX：03-5829-6197

E-mail：[info@nbcrtaisaku.com](mailto:info@nbcrtaisaku.com)

## ◆ 予防技術検定の実施について

### 一般財団法人消防試験研究センター

消防試験研究センターでは、予防技術資格者になるための「予防技術検定」を運営しております。

令和7年12月7日（日）に実施した「令和7年度予防技術検定」の実施結果を、下記のとおりお知らせします。

詳細は、当センターのホームページをご確認ください。

### 令和7年度 予防技術検定の実施結果

検定区分	申請者数	受検者数	合格者数	不合格者数	合格率
防火査察	3,303	3,106	1,876	1,230	60.4%
消防用設備等	1,678	1,549	740	809	47.8%
危険物	1,495	1,404	872	532	62.1%
合計	6,476	6,059	3,488	2,571	57.6%

### 令和8年度 予防技術検定のお知らせ

- ▶ 令和8年度 予防技術検定の実施日は、12月上旬を予定しています。  
日程は、7月上旬（予定）に当センターのホームページにて公示します。
- ▶ 受検案内の配布方法が変わります。  
例年、紙媒体で配布していた「受検案内」を廃止します。これに伴い、7月上旬の公示に併せて、当センターのホームページにて電子版で閲覧できるようになります。必要に応じて、印刷等を行ってください。

#### <スケジュール>

	時期	内容
令和8年	7月上旬	公示（ホームページに検定日や検定案内等を掲出）
	7月中旬から8月下旬	受検申請期間
	12月上旬	予防技術検定実施

※ スケジュールは変更となる場合があります。

消防試験研究センター  
ホームページ

<https://www.shoubo-shiken.or.jp/>



問合せ先

一般財団法人 消防試験研究センター  
連絡先 予防技術検定担当  
TEL 050-3803-9297・9298

## 機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

### ①トップ・セカンド記事

### ②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

### ③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0716）1ページ、機関誌「ほのお」2025年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-4500-6622 機関誌「ほのお」担当：企画課 中西

原稿データは、[kikakoho@fcaj.gr.jp](mailto:kikakoho@fcaj.gr.jp)に送信願います。

### ④消防ワイド

#### 【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

#### 【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

TEL：03-4500-6622 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 中西

原稿データは、[honoo@ffaj-shobo.or.jp](mailto:honoo@ffaj-shobo.or.jp)に送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

## 消防本部の“今”を「週間情報」へ

### ～身近な出来事、旬な情報を週間情報で発信しませんか？～

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

#### 【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

#### 【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。  
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者からメールを返信させていただきます。

TEL：03-4500-6622 「週間情報」担当：企画課 吉田

原稿データは、[weekly@fcaj.gr.jp](mailto:weekly@fcaj.gr.jp)に送信願います。